

日田市総合計画の流れ

	策定年度	期間	将来人口	数値目標の有無	将来都市像等
第1次	昭和45年	昭和46年度～昭和55年度	昭和55年度 67,940人 (昭和45年65,960人)	無	基本目標 1. 健康で明るく活気に満ちた都市 2. 清澄な空気と水で象徴される公害のない都市 3. 広域行政圏の核としての中心都市(地域10万都市)
第2次	昭和55年	昭和56年度～昭和65年度	昭和65年度 75,700人 (昭和55年65,358人)	無	将来都市像「健康で明るく活気に満ちた都市」 1. 若者が定住し、希望に満ちみちた都市を求めて(産業の振興) 2. 人間都市を支える機能的都市を求めて(都市基盤の整備) 3. 水と緑の豊かな安全で住み良い都市を求めて(生活環境の整備) 4. 健康で生きがいのある都市を求めて(健康と福祉の充実) 5. 未来の豊かな世代が育つ都市を求めて(教育の充実) 6. 文化を尊びうるおいのある都市を求めて(文化と地域づくり)
第3次	平成元年	平成2年度～平成12年度	平成12年度 70,000人 (昭和60年65,730人)	無	将来都市像「活力あふれ、文化・教育の香り高いアメニティ都市」 1. 若者が定住し、活力あふれる産業都市の実現 2. 機能的で快適感あふれる中核都市の実現 3. 健康で明るく、人間性豊かな福祉都市の実現 4. ロマンに満ちたうるおいのある文教都市の実現
第4次	平成12年	平成12年度～平成22年度	平成22年度 65,000人 (平成12年62,507人)	有	将来都市像「人・まちの個性が輝き、響きあう共生都市」 1. 人と自然が共生する環境にやさしいまちづくり(自然環境) 2. 調和とうるおいのある快適で住みよいまちづくり(都市基盤・生活環境) 3. 地域の個性を生かし結びあう活力あふれるまちづくり(産業振興) 4. 健やかに生き生きと暮らせる安心・安全のまちづくり(福祉・健康・安全) 5. 郷土を愛し心豊かな人が育つまちづくり(教育・文化・スポーツ・人権) 6. 多様な関わりあいのあるまちづくり(地域運営)
第5次	平成18年	平成19年度～平成28年度	平成28年度 68,000人 (平成17年度74,165人)	有	将来都市像「人と自然が共生し、やすらぎ・活気・笑顔に満ちた交流都市」 1. 環境にやさしいまちづくり 2. 便利で快適なまちづくり 3. 個性を生かした産業振興によるまちづくり 4. 健やかに安心して暮らせるまちづくり 5. 心豊かで輝く人の育つまちづくり 6. 市民協働によるまちづくり

()は計画策定時の人口